

米製薬に3.7兆円買収提案

【ミュンヘン＝加藤貴行】アイルランド製薬大手のシャイアーは4日、米バイオ医薬品のバクسالタに買収提案したと発表した。全株式の取得をめざし、総額は約300億ドル（約3兆7200億円）の見通し。希少疾病分野に強い企業同士で相乗効果が見込めると判断した。バクسالタが協議入りを拒否し続けたため、シャイアーは提案を公表し広く株主の支持を集める手法に転換する。

シャイアーは自社の米預託証券（ADR）とバクسالタ株の交換を提案し、バクسالタ株の3日終値に36%上乘せした水準になる。シャイアーは7月上旬に初めて提案した。両社の統合で法人税率の低いアイルランドに本社を集め、収益性が改善する利点も訴えた。シャイアーは昨年、米同業アッヴィに買収されることで一度合意したが、白紙になった。今年に入り別の米バイオ医薬品企業を買収するなど、自ら買収攻勢をかけている。一方、バクسالタは今年、米製薬大手のバクスターのバイオ医薬品部門が分離して発足し、株式を上場したばかり。